

東久留米のふれあい情報サイト

サイト内検索はこちらから

Google [検索]

くくちゃん るるくん

まちづくり・コミュニティ 町会・自治会 防犯・防災・みまもり こども 教育 シニアライフ 健康

スポーツ 芸術・文化・趣味 環境 ふくしとサポート NPO・ボランティア 国際交流 男女共同参画 農業・高工業

[ホーム](#) > [市民レポーター](#) > [また農地が消えてゆく...](#)

また農地が消えてゆく...

この季節、地元産の枝豆とキュウリの浅漬けとトウモロコシと（地元産でない）ビールだけで夕食が大満足に楽しめる私「きんた」であります。

さて、最近、我が家の近くの農地が宅地化され、販売されています。この土日は見学者も多くて人気のほどがうかがえます。地元の不動産業者も、できるだけまとまった土地に効率よい区画を配置して、びっしり家を建てます。今回は17区画です。



でも、また農地が減ってしまうんですね。東久留米はほとんどが市街化区域なので、相続が発生すると、農家は土地を手放さざるを得ないケースも多く見られます。

私がこの地に住んだ一つには、この農地や、道の反対側にあった大木など、昔の東久留米を思わせるのどかな景色があったことが大きな理由でした。でもなくなるのはあつという間ですね。

また、我が家の近くににあった広い原っぱ（広場）は一足早く20数棟の住宅地になってしまいました。息子と日が暮れるまでサッカーした草地はもうありません。近接の農地はまだ残っていますが、さびしい限りです。



東久留米は「緑」が多く、「農業」も盛んな街だと売り物にしていますが、近いうち、そんな街並みではなくなってしまうかもしれません。だから農家の皆さんはもちろん、市民がみんな「緑」や「農地」を支えていけるような仕組みを作っていかなければなりません。行政の施策も本当に必要です。



今回の開発宅地のすぐ近くにはまだまとまった農地があります。四季折々の作物が栽培され、私たちの目を、舌を楽しませてくれています。農家の皆さん、頑張ってください。私も応援し続けます。

（きんた）

[前の画面へ戻る](#)

[▲ページトップ](#)